

衆議院議員

大串まさき

国政報告



特集

令和三年度予算案 コロナ対策と経済再生に向けて

ゲンロック VOL. 22

新型コロナウイルス感染症と最前線で闘っておられる皆さまに、心より感謝を申し上げます。また、昨年末以来、不要不急の外出を控えるなど、ご協力を頂いている皆さまにも、改めて感謝申し上げます。

令和三年も引き続き、感染症との闘いと経済再生が喫緊の課題です。命と暮らしを守るために、しっかりと仕事をして参ります。コロナ対策については、政府の対応に対して厳しいご意見を頂いていることは承知しております。一方で、収入減等により厳しい生活環境に陥っている方々もたくさんおられます。感染症を抑えつつ経済も動かすという、二項対立を乗り越えた対応が必要です。

しかしながら、感染の拡大が懸念されている現状では、一定の抑制が必要になっています。これまでの知見に基づいて、効果を見極めた限定的な対応をおこないます。ご不便をお掛けしますが、引き続きのご協力をお願い致します。

令和三年度は、デジタル化とグリーン化を推進する変革の年でもあります。コロナ禍で明らかになった、社会全体のデジタル化の遅れに対処しつつ、国際社会に対しては、環境問題への強い覚悟を示す年になります。

本年もしっかりと頑張って参ります。

大串 正樹

大串まさき プロフィール

自由民主党副幹事長
元経済産業大臣政務官

- ▶昭和 41 年、兵庫県生まれ。報徳学園高校卒 (74 回)、東北大学工学部卒 (資源工学科)、同大学院修了 (工学修士)。
- ▶IHI (工業炉設計部)、松下政経塾、大学准教授等を経て政治の道へ。専門は知識経営、社会保障、教育政策等。博士 (知識科学)。
- ▶平成 23 年 3 月、公募により自由民主党兵庫県第六選挙区 (伊丹市・宝塚市・川西市) 支部長に就任。平成 24 年 12 月、第 46 回衆議院総選挙にて初当選。以降、3 期連続当選。

コロナ対策と経済再生に向けて：令和三年度予算案と令和二年度第三次補正予算案

コロナ対策と経済再生に向けて、令和三年度予算と令和二年度第三次補正予算を合わせて15ヶ月分の予算として機動的に政策を実施して参ります。その基本的な考え方として、家計や企業の不安に対処するべく、万全の「守り」を固めるとともに、新たな時代への「攻め」に軸足を移すという、2つの大きな視点からなる経済対策を打ち出しました。これによりGDPを3.6%程度、押し上げます。

●新たな総合経済対策

「国民の命と暮らしを守る安心と希望のための総合経済対策」と銘打って40兆円規模（事業規模で約73.6兆円）の対策を準備しました。大きくは以下の3つの柱からなり、令和三年度中にコロナ前の経済水準へと回帰させます。

①新型コロナウイルス感染症の拡大防止策

1. 医療提供体制の確保と医療機関等への支援
2. 検査体制の充実、ワクチン接種体制等の整備
3. 知見に基づく感染症防止対策の徹底
4. 感染症の収束に向けた国際協力

②ポストコロナに向けた経済構造の転換・好循環の実現

1. デジタル改革・グリーン社会の実現
2. 経済構造の転換・イノベーション等による生産性向上
3. 地域・社会・雇用における民需主導の好循環の実現

③防災・減災、国土強靱化など安全・安心の確保

1. 防災・減災、国土強靱化の推進
2. 自然災害からの復旧・復興の加速
3. 国民の安全・安心の確保

●さらなる感染症防止策

補正予算では、都道府県が行う重点医療機関等の病床確保や軽症者用の宿泊療養施設の確保等を補助率100%の**緊急包括支援交付金**で支えます。また、ワクチンについては、遅滞なく、希望する国民がワクチンの接種を受けられるよう、**接種費用等を措置**しています。

さらに、令和三年度予算において、自治体間の応援派遣等を効果的に実施できるよう**保健所体制等を整備**し、医療機器の国内生産能力の増強も図ることとしています。

●地域の好循環を実現する施策

補正予算において、コロナ収束後のインバウンド復活に向けた観光拠点の基盤整備、地域公共交通の維持・活性化への重点的支援、サテライトオフィス整備等の支援、水田の高収益化の推進などを進めて参ります。また、地域の実情に応じ、きめ細かに必要な事業を実施できるよう、**地方創生臨時交付金を増額（1.5兆円）**。この中で、協力金を支払いつつ営業時間短縮要請等を行う都道府県を支援するための枠を新設します。

令和三年度予算においても、移住支援事業を拡充するとともに（**地方創生推進交付金**）、企業・自治体のマッチング支援を行い、地方へ人や仕事の流れを拡大します（**地方創生テレワーク推進事業等**）。また、新型コロナ収束後のインバウンドの早期復活に向け、国際観光旅客税収の活用により、自然・文化を生かした高付加価値なコンテンツの創出や、ホテル・旅館のサービス向上を加速して参ります。



●中小企業向けの施策

コロナ禍での中小企業を取り巻く経営課題にもしっかりと対応してまいります。具体的には、

- ・事業転換・業態転換等を行う中堅・中小企業の設備投資等を支援するための**事業再構築補助金**の創設
 - ・日本政策金融公庫等による実質無利子・無担保融資の継続等や、経営改善を後押しする信用保証制度の創設
 - ・生産性革命推進事業（持続化補助金等）において、**低感染リスク型ビジネス**に対する投資について補助を行う新特別枠の創設
 - ・中小企業の再生支援や事業承継の相談窓口である**中小企業再生支援協議会**や**事業引継ぎ支援センター**の体制整備
 - ・M&A時の専門家活用や事業承継後の設備投資を支援するための**事業承継・事業引継ぎ補助金**の措置
- 等、中小企業に対する支援に万全を期して参ります。

●雇用、生活困窮者対策

雇用調整助成金の特例措置等による雇用の維持・確保に取り組むとともに、新たな施策も創設します。

- ・**出向元・出向先を一体的に支援**する新たな助成金を創設
- ・離職者を**試行雇用**する事業主への**助成制度**を創設
- ・住居確保給付金について、特例として令和二年度中の新規申請者について、支給期間を12か月まで延長可能に
- ・緊急小口資金等の特例貸付について、新規貸付の期限を令和三年三月末まで延長

といった対応をしっかりと進めて参ります。

※グリーン化、国土強靱化等の施策については改めて解説致します。

大串まさきの主な活動

本年の国会では、引き続きコロナ対策を最優先課題として、経済再生、さらにはデジタル化やグリーン化など、幅広い分野で活動して参ります。

まずは、地域の医療提供体制を維持するためのサポートを、県・市と連携しながら、引き続き丁寧に対応して参ります。また、地域のさまざまな課題に対しても、丁寧に国の施策と繋げながら対応して参ります。

国会においては、デジタル化の波に遅れている**医療分野の情報化**推進のための法整備を進めてまいります。また、**新たな情報通信環境に対応**すべく、社会の諸課題を検討しつつ政策立案にも関わって参ります。また、カーボンニュートラル社会に向けて、**カーボンプライシング**や、自動車税の在り方など長期的な課題にも関わって参ります。集会等の開催が難しい折ですので、WEBを活用した情報発信も積極的におこなって参ります。



地元で街頭活動もおこなっています。見かけた際には、お気軽に、お声がけ下さい。